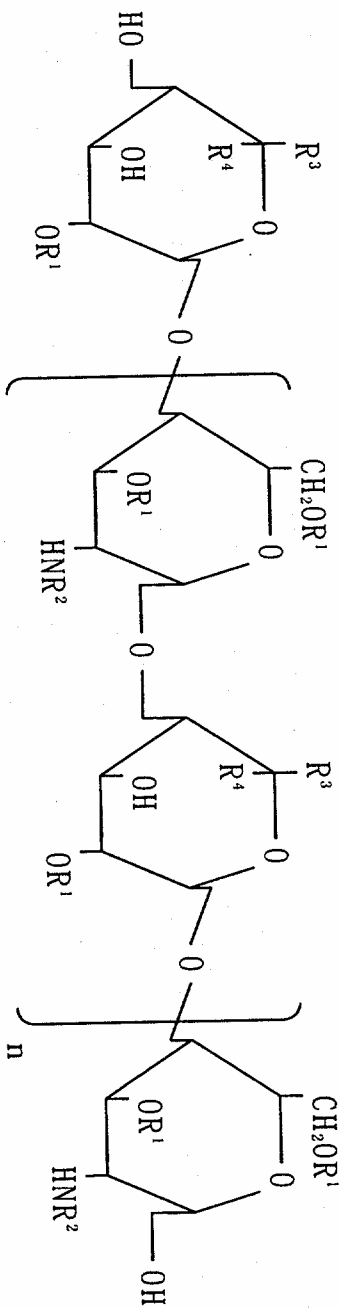


別紙物件目録

ウシ又はブタ腸粘膜由来のヘパリンを過酸化水素と酢酸第二銅により分解して得られた解重合ヘパリンのナトリウム塩 平均相対分子量は四五〇〇〇〜六五〇〇、硫

酸エステル化の度合は、二糖類あたり二・〇〜二・四

(一般名称 パルナパリンナトリウム、商品名 「ローヘパ注500」)



$R^1 = \text{SO}_3\text{Na}$ or H ; $R^2 = \text{SO}_3\text{Na}$ or COCH_3 ; ($R^3 = \text{H}, R^4 = \text{COONa}$) or ($R^3 = \text{COONa}, R^4 = \text{H}$)

$n = 3 \sim 20$

別紙 特許請求の範囲

活性成分として、

次の物理化学的性質

- 2600 ~ 5500 ドルトンの平均分子量 [ソモギー (Somogy)法を用い商用ヘパリンと比較して決定]
- 加水分解後のヘキソスアミン (p-ジメチルアミノベンズアルデヒドとの反応) : $28\% \pm 2\%$
- 加水分解後のウロン酸 (カルハゾールとの反応) : $31\% \pm 4\%$
- 加水分解後の有機 SO_4^{2-} (ナフタルソンを用いる滴定) : $30\% \pm 4\%$
- ウロン酸/ヘキソスアミン/— SO_4^{2-} のモル比 = 1/1/2
- 水溶液の比旋光度 $[\alpha]_D^{20} = +40^\circ \sim +50^\circ$
- 酢酸セルロースについての電気泳動 [ピリジン/酢酸/水 (1/10/229)、pH3.5 およびトルイジンブルーを用いる現象] = 陽極移動度 $U = 2.1 \cdot 10^{-4} \text{cm}^2 \text{V}^{-1} \text{sec}^{-1}$ を有する単一帯
- 象げ色の非晶質のやや吸湿性の粉末
- 透明もしくはやや乳白光の水溶液
- 5%水溶液の pH : 7 ~ 8
- 生成物の 2%溶液 1ml を 1ml の 0.0025% のトルイジンブルー溶液に加え、0.1M の 1N 塩酸で酸性にするメタクロム確認反応によって青から赤味青の色を呈する、

を有する、活性基、とくには硫酸基、がヘパリンに特有の量及び位置で含有されてなる、オリゴヘテロポリサツカライドを含有することを特徴とする血栓症予防剤。

別紙 構成要件

- 1 オリゴヘテロポリサツカライドを含有することを特徴とする血栓予防剤であること。
- 2 次の物理化学的性質を有するオリゴヘテロポリサツカライドであること。
 - (1) 2600 ~ 5500 ドルトンの平均分子量 [ソモギー (Somogy)法を用い商用ヘパリンと比較して決定]
 - (2) 加水分解後のヘキサスアミン (p-ジメチルアミノベンズアルデヒドとの反応) : $28\% \pm 2\%$
 - (3) 加水分解後のウロン酸 (カルハゾールとの反応) : $31\% \pm 4\%$
 - (4) 加水分解後の有機 SO_4^- (ナフタルソンを用いる滴定) : $30\% \pm 4\%$
 - (5) ウロン酸/ヘキサスアミン/- SO_4^- のモル比 = 1/1/2
 - (6) 水溶液の比旋光度 $[\alpha]_D^{20} = +40^\circ \sim +50^\circ$
 - (7) 酢酸セルロースについての電気泳動 [ピリジン/酢酸/水 (1/10/229)、pH3.5 およびトルイジンブルーを用いる現象] = 陽極移動度 $U = 2.1 \cdot 10^{-4} \text{cm}^2 \text{V}^{-1} \text{sec}^{-1}$ を有する単一帯
 - (8) 象げ色の非晶質のやや吸湿性の粉末
 - (9) 透明もしくはやや乳白光の水溶液
 - (10) 5 %水溶液の pH : 7 ~ 8
 - (11) 生成物の 2 %溶液 1ml を 1ml の 0.0025 %のトルイジンブルー溶液に加え、0.1m の 1N 塩酸で酸性にするメタクロム確認反応によって青から赤味青の色を呈する。
- 3 上記のオリゴヘテロポリサツカライドは、活性基、とくには硫酸基がヘパリンに特有の量及び位置で含有されてなること。

別紙 比旋光度

$$[\alpha]_{\text{D}}^{20} = +47^{\circ}$$